

1 現行学習指導要領の成果と課題

【成果】○数学的リテラシー（PISA2012）○ 学力の底上げ（全国学力・学習状況調査）

【課題】・学力上位層の割合が低い（PISA2012）

・数学を学ぶ楽しさ 実社会との関わり（TIMSS2011）

・(小)「基準量，比較量，割合の関係を正しく捉えること」

「事柄が成り立つことを図形の性質に関連付けること」

(中・高)「説明することなど」（全国学力・学習状況調査）

2 育成すべき資質・能力の三つの柱について

三つの柱

知識・技能

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力，人間性等

3 算数科の特質に応じ育まれる見方・考え方について

事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え，根拠を基に筋道を立てて考え，統合的・発展的に考えること

4 算数科の目標について

◎ 数学的な見方・考え方を働かせ，算数の学習を生活や学習に活用するなどの数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を育成する。

① 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに，日常の事象を数理的に表現・処理する技能を身に付ける。

② 日常の事象を数理的に捉え，見通しをもち筋道を立てて考察する力，基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力や，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。

③ 数学のよさに気づき，算数の学習を生活や学習に活用したり，学習を振り返ってよりよく問題解決したりする態度を養う。

5 学習・指導の改善充実について

○「アクティブ・ラーニング」では，深い教材研究と児童の実態に応じた指導方法の工夫改善を基に，以下の3つの学びを実現する。

主体的な
学び

問題の解決に向けて見通しをもち，粘り強く取り組み，問題解決の過程を振り返り，よりよく解決したり，新たな問いを見いだしたりする。など

対話的な
学び

数学的な表現を用いて論理的に説明したり，よりよい考えや事柄の本質について話し合ったりし，よりよい考えに高めたり事柄の本質を明らかにしたりする。など

深い学び

事象について，数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，新しい概念を形成したり，よりよい方法を見いだしたりするなど，新たな知識・技能を身に付け，知識の構造や思考，態度が変容する。など

6 その他

・統計的な内容の充実